

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

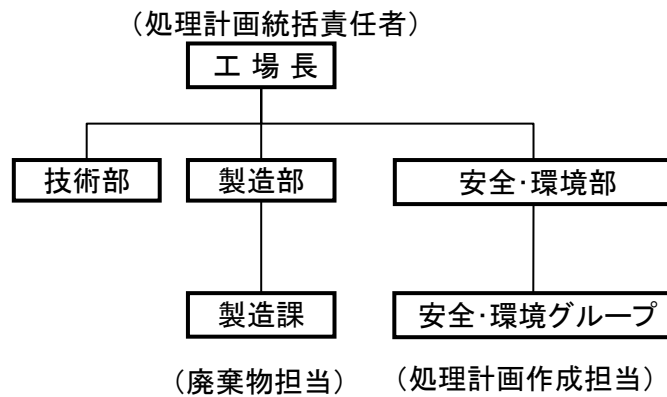
（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 6 年 5 月 3 0 日	
千葉県知事	
熊谷 俊人 殿	
提出者 〒299-0108	
住 所 千葉県市原市千種海岸3番地	
氏 名 三井化学株式会社 市原工場 執行役員工場長 阿部 真二 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0436-62-3223	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	三井化学株式会社市原工場
事業場の所在地	千葉県市原市千種海岸3番地
計画期間	令和 6 年 4 月 1 日 から 令和 7 年 3 月 3 1 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	大分類：製造業 中分類：化学工業 小分類：有機化学工業製品製造業
② 事業の規模	前年度の製品出荷額 2,526 億円
③ 従業員数	1,226人（正社員 775 人、常勤関係職員 451 人）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙参照

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	一覧参照	一覧参照
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) 汚泥：脱水機運転管理強化による含水率の低減。 廃油：設備改造、運転方法、作業方法改善で抑制。 廃プラ：設備改造、仕分け徹底、運転方法改善で削減。 金属：可能な限りリサイクル 陶磁器くず等、がれき類：使用期間延長で発生抑制 木くず：パレットを破損させない様配慮 など		
	【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	一覧参照	一覧参照
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 上記「現状取組」の継続		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥は、廃棄物が混ざらない様、専用設備で管理。 廃油は、発生場所による仕分けの徹底。 廃プラ、紙くず、木くずは、再資源化業者に委託するため分別を徹底。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記「現状取組」の継続

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	一覧参照	一覧参照
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 廃プラは、一部をケミカルリサイクルしている		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	一覧参照	一覧参照
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 上記「現状取組」の継続		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	一覧参照	一覧参照
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) -		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	一覧参照	一覧参照
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) -		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	一覧参照	一覧参照
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 埋立処分や海洋投入処分は原則行わない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	一覧参照	一覧参照
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 上記「現状取組」の継続		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	一覧参照	一覧参照
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 中間処理後にセメント原料にする等、再資源化を推進している業者へ委託。 また、優良認定処理業者、認定熱回収業者へ委託するよう考慮している。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	一覧参照	一覧参照
	全 処 理 委 託 量_	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 上記「現状取組」の継続		
※事務処理欄			

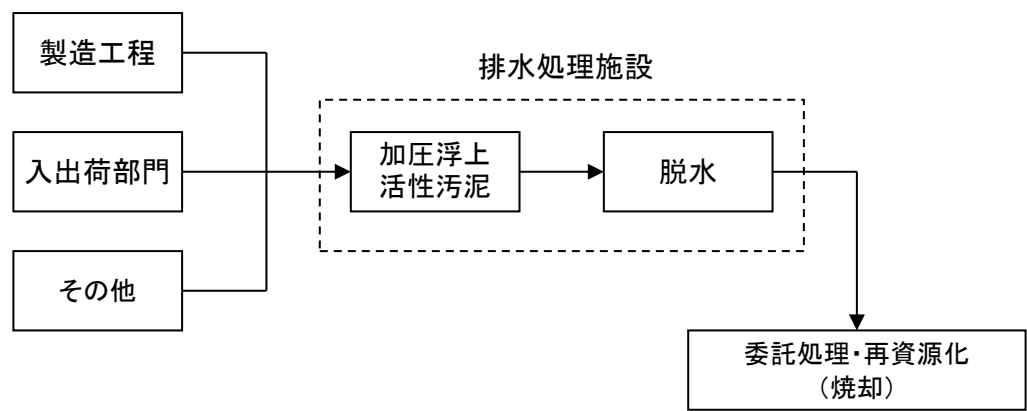
(第6面)

備考

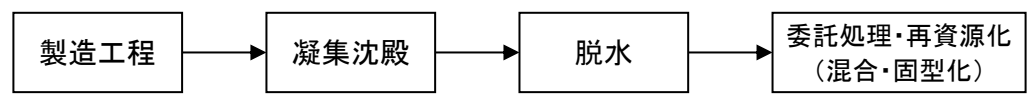
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

普通産業廃棄物処理工程

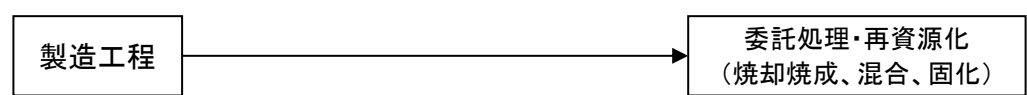
1. 汚泥 (WT汚泥)



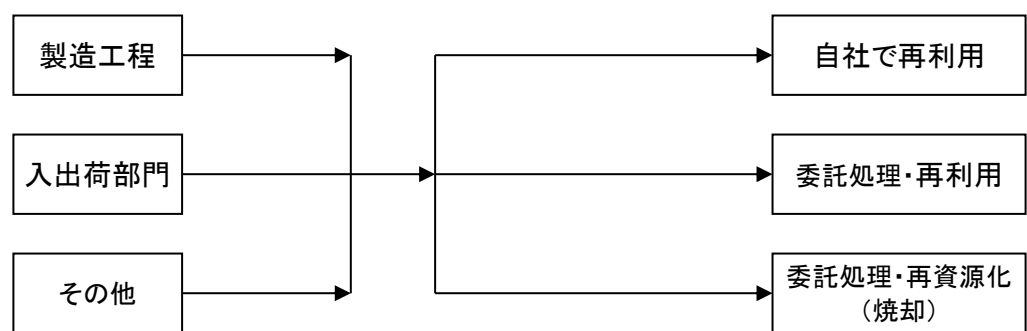
2. 汚泥 (FR汚泥)



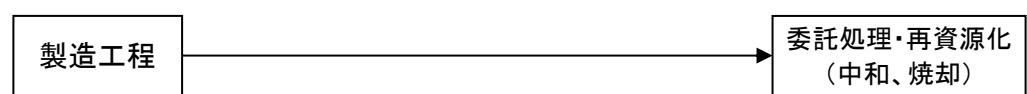
3. その他汚泥 (汚泥)



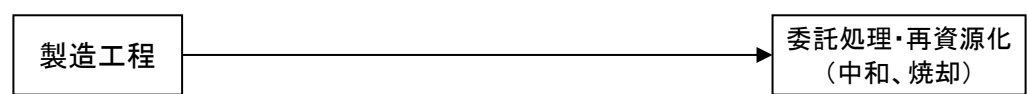
4. 廃油



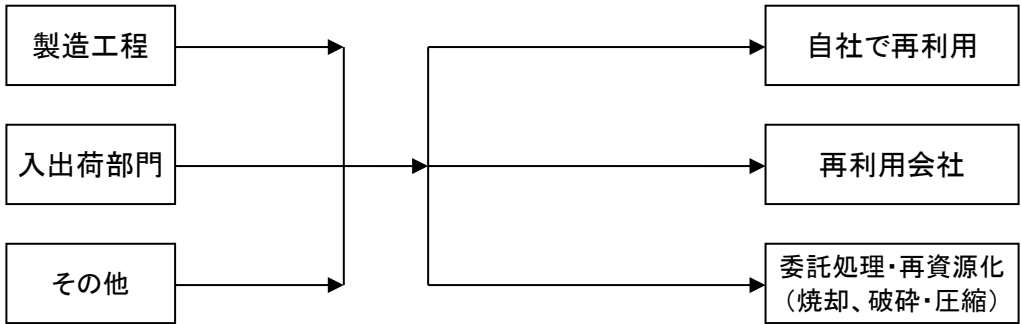
5. 廃酸



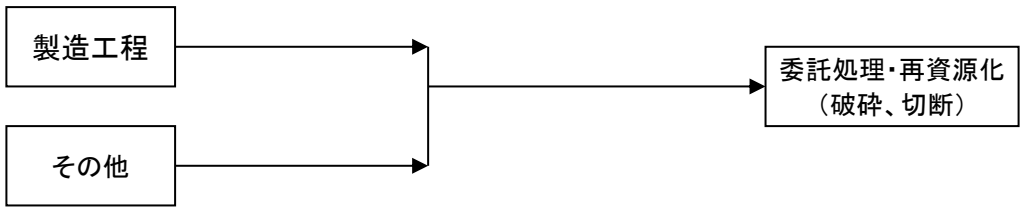
6. 廃アルカリ



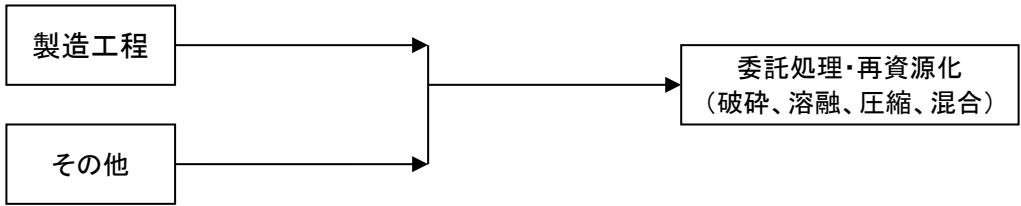
7. 廃プラスチック類



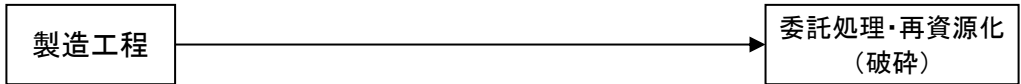
8. 金属くず



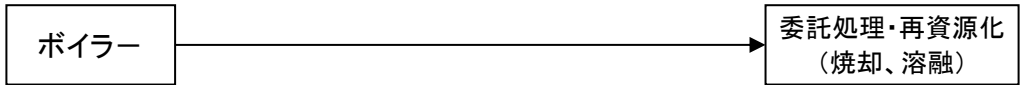
9. ガラス・コンクリート・陶磁器くず



10. がれき類



11. ばいじん



12. 木くず



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	【前年度（令和　５年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	汚泥（WT）	汚泥（FR）	汚泥（その他）	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ類	金属くず
	排　出　量	5702.2　t	804　t	2049.5　t	56.9　t	0　t	89.4　t	4130.4　t	9.4　t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥（WT）	汚泥（FR）	汚泥（その他）	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ類	金属くず
	排　出　量	5417　t	788　t	1947　t	54　t	0　t	85　t	3924　t	9　t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	【前年度（令和　５年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	汚泥（WT）	汚泥（FR）	汚泥（その他）	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ類	金属くず
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	3593.7　t	0　t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥（WT）	汚泥（FR）	汚泥（その他）	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ類	金属くず
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	3414　t	0　t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	【前年度（令和　５年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	汚泥（WT）	汚泥（FR）	汚泥（その他）	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ類	金属くず
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥（WT）	汚泥（FR）	汚泥（その他）	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ類	金属くず
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の種類	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	汚泥（WT）	汚泥（FR）	汚泥（その他）	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ類	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥（WT）	汚泥（FR）	汚泥（その他）	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ類	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	汚泥（WT）	汚泥（FR）	汚泥（その他）	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ類	金属くず
	全処理委託量	5702.2 t	804 t	2049.5 t	56.9 t	0 t	89.4 t	536.7 t	9.4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	5026.1 t	718.1 t	2022.8 t	56.9 t	0 t	89.4 t	461.4 t	7.9 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	768.5 t	477.6 t	6.2 t	0 t	0 t	75.9 t	8.9 t
	認定熱回収業者への処理委託量	3652.1 t	0 t	767.8 t	45 t	0 t	89.4 t	270 t	0.3 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	429.6 t	0 t	5.4 t	0.3 t	0 t	0 t	190.8 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥（WT）	汚泥（FR）	汚泥（その他）	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ類	金属くず
	全処理委託量	5417 t	788 t	1947 t	54 t	0 t	85 t	510 t	9 t
	優良認定処理業者への処理委託量	5417 t	709 t	1947 t	54 t	0 t	85 t	510 t	9 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	788 t	102 t	6 t	0 t	43 t	204 t	9 t
	認定熱回収業者への処理委託量	4063 t	0 t	924 t	48 t	0 t	0 t	306 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1083 t	0 t	921 t	0 t	0 t	42 t	0 t	0 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	ばいじん	木くず				
	排 出 量	138.5 t	61.8 t	7.1 t	60.1 t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	ばいじん	木くず				
	排 出 量	132 t	59 t	7 t	57 t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	ばいじん	木くず				
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	ばいじん	木くず				
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	ばいじん	木くず				
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	ばいじん	木くず				
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和　５年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	ばいじん	木くず				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	ばいじん	木くず				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和　５年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	ばいじん	木くず				
	全処理委託量	138.5　t	61.8　t	7.1　t	60.1　t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	136.9　t	0　t	7.1　t	0　t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	3　t	61.8　t	0　t	60.1　t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	133.4　t	0　t	7.1　t	0　t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t	t	t
	②計画	【目標】							
産業廃棄物の種類		ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	ばいじん	木くず				
全処理委託量		132　t	59　t	7　t	57　t	t	t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量		132　t	0　t	7　t	0　t	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量		132　t	59　t	0　t	57　t	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量		0　t	0　t	7　t	0　t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0　t	0　t	0　t	0　t	t	t	t	t